

入選作品は ここで見れる!

第7回

雪舟の里 総社 墨彩画公募
入選作品展 2008



第7回 雪舟の里 総社 墨彩画公募
展入選作品55点を展示します。

●サンロード吉備路

9月6日(土)から15日(祝)まで、
いずれも午前9時30分から午後5時
30分まで。

9月6日(土)、午前10時15分から、
「上村淳之ギャラリートーク」と題
し、審査員で日本芸術院会員の上村
淳之さんが作品解説を行います。

●加計美術館

9月18日(木)から10月12日(日)ま
で(月曜日休館)、いずれも午前9
時から午後5時まで。

●天満屋 岡山店

10月15日(水)から19日(日)まで、
いずれも午前10時から午後6時ま
で。

10月15日(水)、午前10時15分
から、審査員の竹内浩一さんが作品
解説を行います。

問い合わせ

総社市文化振興財団
(☎0856-3491 総合文化センター内)

墨彩画は、水墨画の枠にとら
われず、自由な発想や技法、幅
広い色使いで描かれる絵画。6
月19日、審査会場となる市民会
館に応募作品の搬入が
始まった。風景をはじめ
め、人物、動植物、行
事など、作品のモチー
フは多彩だ。また、軸
による応募作品が多か
ったことも今回の特徴
だった。



審査員の前に作品を運ぶ県大生

「非常にレベルの高い印象を
もった」。審査終了後の講評で、
今回初めてこの公募展の審査員
を務めた中野嘉之さんがこう話
した。他の審査
員からも、秀作
が多くあったと
の講評が相次い
だ。レベルが高
くなったことに
ついて、「墨彩画
に対しての出品
者の意識が高ま
った」と審査員
は見る。
講評では作品づくりの姿勢に
ついて話があった。「若い作
家は確かな目で自然を見つめて



応募作品を見る審査員

いる。意図的にどうい風な絵
を描こうというよりは、自然に
教えられ導かれ、ようやく知っ
た世界を描いている。非常に絵
の原点を突いている
すばらしい作品。上
村淳之さんは雪舟大
賞の受賞者の姿勢を
こう評価し、穏やか
な気持ちにならない
と、実際の自然の姿
は見えないと話す。
このように秀作が
多かつたことは、墨
彩画を大成させる第二の雪舟さ
んが現れることを願う墨彩画公
募展が、いい方向に成長してい
るとい証だ。

平山郁夫賞 (審査員長賞)

みつばちの羽音

真鍋 修さん (東京都国立市)



特選

大切なひと

池田 真理子さん (茨城県つくば市)



特選

雨の音

宇高 健太郎さん (東京都台東区)



特選

湖辺西風

池庄司 淳さん (滋賀県大津市)

入選者

雪舟大賞、平山郁夫賞(審査
員長賞)、特選以外の入選者は
次のとおりです。

【奨励賞】 伊東正次(東京
都国分寺市)、藤井智美(兵庫
県小野市)、藤野啓子(大分市)、
岡田雅彦(大阪府東大阪市)、
広森守(京都市)

【入選】 野々内宏(京都市)、
小原憲治(大阪市)、本地裕輔
(名古屋市)、田中佳美(美咲町)、
松下雅寿(東京都町田市)、武
部英子(千葉県市川市)、高木
基恵(愛知県豊橋市)、吉田真
美(神奈川県鎌倉市)、守屋亜
矢子(茨城県つくば市)、野口
稔(広島市)、熊本由比(神奈川
県藤沢市)、新谷有紀(仙台市)、
藤田哲也(三重県桑名市)、本
間法子(東京都調布市)、酒井
克典(奈良県生駒市)、藤谷實
(広島県福山市)、杉浦英一(愛
知県岡崎市)、西坂省三(兵庫
県三田市)、林直美(福岡県筑
紫野市)、柏谷明美(宇都宮市)、
前田恭子(京都市)、久保輝秋
(福岡県福津市)、森博幸(広島

市)、下村康二(佐賀県神埼市)、
藤原郁子(大阪府高槻市)、松
岡歩(千葉県船橋市)、永吉秀
司(千葉県柏市)、諸星美喜
(倉敷市)、柳沢優子(愛知県長
久手町)、福田浩之(京都市八
幡市)、長谷川幾与(さいたま
市)、高田学(滋賀県栗東市)、
大久保智睦(東京都台東区)、
松岡里依子(京都市)、木下め
いこ(神奈川県鎌倉市)、青木
秀明(京都市)、角田亜矢(兵庫
県丹波市)、花本和之(広島県
尾道市)、米田実(京都市)、林
靖子(埼玉県川口市)、北村晴
子(奈良市)、西原陽平(広島市)、
福本久人(兵庫県猪名川町)、
加藤洋一郎(春日井市)、朝倉
美彌子(埼玉県和光市)

〔敬称略〕

特集

雪舟の里 総社

墨彩画公募展